

JFウトロ漁業協同組合女性部

【斜里町】

はじめは？

斜里町ウトロ地域は世界自然遺産・知床のオホーツク海側に位置し、漁業と観光が盛んです。定置網漁業を主として様々な漁が営まれているほか、自然体験などを目的に多くの観光客が訪れています。

このようなウトロ地域で、ウトロ漁業協同組合女性部は部員間の親交と地域への貢献等を目的に1954年に結成されました。

1965年頃にはイカ釣り漁船が入港していましたが、当時のウトロ地域は開発が進んでおらず不便だったため、女性部で生活物資を提供する日用雑貨の店を営業することになりました。1970年頃からはその店で食事も提供することになり、今の「ウトロ漁協婦人部食堂」へと続いています。



ウトロ漁協女性部の皆さん

おもな活動



道の駅で販売している特製弁当

ウトロ漁港内において、「ウトロ漁協婦人部食堂」を毎年4月後半～10月までの約半年間営業しています。

道の駅では「特製弁当」を土日限定で販売しており、食堂と併せて地元水産物の魅力をPRしています。

また、世界遺産・知床に住む者として、貴重な自然環境を守ろうとウトロ漁港内の清掃やサケ・マスの上川である岩尾別川流域の荒廃地にアカエゾマツ等の植樹を行うなど、環境の美化・復元にも取り組んでいます。

地域では農協や商工会の女性部とも連携。鮭いずしなどの料理講習会等を通じ、情報交換の輪を広げています。

ここが自慢

【交流も楽しむ“浜の母さん食堂”】

当初は入港する漁船の船員向けに始めた婦人部食堂ですが、現在はたくさんの観光客や釣り人などで賑わいます。ウニ丼やいくら丼、焼き魚定食など、ウトロで採れたものをウトロのお母さん達が料理して提供しているため、本当の地元の味が味わえます。

開店当時から変わらない店舗は漁港の中にあり、窓からは船が入ってきたり荷揚げを行う様子などが見られることも。

カウンター席しかない小さな店で、食堂のお母さん達はお客さんとの交流を大事にしながら地場水産物のPRにも努めています。



漁港内にある婦人部食堂

データ

■代表者:高橋泰子さん／設立:1954年／会員:104名

■連絡先:斜里郡斜里町ウトロ東117番地 ウトロ漁業協同組合信用部内

■電話:0152-24-2011

■FAX:0152-24-2264